



「アジア ユースリーダーズ 2021」開催

— 8カ国の高校生が食品ロスの削減に向けてネット上で議論 —

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、12月20日（月）から22日（水）の3日間、「アジア ユースリーダーズ 2021」をオンライン（ZOOM）にて開催しました。

本プログラムは、2010年に始まり、今年で12年目を迎えました。日本を含むアジア各国の高校生・大学生が、英語を共通言語として、開催国の社会問題に関する視察で学んだことを議論することで、問題解決力や自発的な行動力を高めるとともに、グローバルな感覚を養い、価値観の多様性を学ぶことを目的に実施し計1,066名が参加しました。

現在、社会の持続可能性を脅かす地球温暖化を食い止めるため、その原因となる温室効果ガスの排出量削減に向けたさまざまな取り組みが世界各地で進められていますが、目標達成への道のりは険しいものとなっています。

当財団は、「食」に関わる事業活動や食生活が、温室効果ガスの発生源の一つになっていることに着目し、今年から3年間「脱炭素社会の実現に資する持続可能な食の未来づくり」を統一テーマとし、本プログラムを実施しました。

1年目となった本年は、食品ロスの削減について取り上げ、日本を含むアジア8カ国72名の高校生が、世界の現状や問題に関する有識者の講演を視聴した後、多国籍混合の10チームに分かれてグループディスカッションを行いました。最終日には、参加者一人一人が「食品ロス削減行動宣言」を考え、代表して各チームリーダーが、問題解決に向けた自らの具体的な行動を発表しました。

当財団はこれからも、さまざまな国際的な交流機会の提供を通じて、次代を担う子どもたちの健全な育成や、諸外国との友好親善の促進に貢献してまいります。

記

【開催概要】

1. 期 間：12月20日（月）～22日（水）
2. 参 加 者：インドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ラオスの高校生合計72名
3. 会 場：KFC Hall & Rooms
(〒130-0015 東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル)
4. 主な日程：12月20日（月）オリエンテーション、基調講演Ⅰ、講演Ⅱ、
12月21日（火）講演Ⅲ、グループディスカッション
12月22日（水）成果発表会

以上

【開催概要】



<講演>

日時：12月20日（月）～12月22日（水）

場所：オンラインZOOM

I：12月20日（月）11時30分～12時30分

食品ロス問題ジャーナリスト 井出 留美（いでのるみ）様
「グローバルな視点から、食品ロスに関する現状、課題について」 [基調講演]

II：12月20日（月）15時30分～16時30分

ウィーン・ノイシュタット応用科学大学 サステナビリティ研究所 所長
Karin Dobernig（カリン ドーバーニグ）様
「消費者の日常生活における食品ロスの問題点について」

III：12月21日（火）10時30分～11時30分

キャンベラ大学 芸術デザイン学部 創造文化研究センター 准教授
Bethaney Turner（ベタニー ターナー）様
「未来に向けて、食品ロスの改善から脱炭素社会への実現について」

<成果発表会>

日時：12月22日（水）12時00分～18時00分

場所：オンラインZOOM

講評：ガルダ パンガン 創設者兼CEO. Eva Bachtiar（エヴァ バチター）様
総合地球環境学研究所 FEAST プロジェクト客員准教授
MCGREEVY, Steven Robert（マックグリービー スティーブン ロバート）様



ご参考 <2010年～2020年 アジアユースリーダーズの活動について>



第1回 2010年(ベトナム)
テーマ:「生物多様性」
日本の大学生25名がハノイ、ホーチミンの大学生と交流



第2回 2011年(ベトナム)
テーマ:「持続可能な開発」
日本、タイ、ベトナムの大学生90名が参加



第3回 2012年(日本)
テーマ:「水と経済」
インドネシア、日本、タイ、ベトナムの大学生96名が参加



第4回 2013年(インドネシア)
テーマ:「ゴミ問題」
中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの大学生84名、高校生80名が参加



第5回 2014年(ベトナム)
テーマ:「大気汚染」
インドネシア、日本、ベトナムの大学生32名
高校生33名が参加



第6回 2015年(中国)
テーマ:「ゴミ問題」
中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの大学生50名、高校生68名が参加



第7回 2016年(タイ)
テーマ:「水質問題」
中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの大学生45名、高校生66名が参加



第8回 2017年(日本)3年計画1年目
テーマ:「食と健康」
日本、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、中国の高校生53名が参加



第9回 2018年(インドネシア)3年計画2年目
テーマ:「食と健康」
中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの高校生85名が参加



第10回 2019年(ベトナム)3年計画3年目
テーマ:「食と健康」
インドネシア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、カンボジア、ミャンマー、ラオスの高校生115名



第11回 2020年(オンライン)
テーマ:「コロナ禍に伴う学校教育上の課題と改善点・打開策」
インドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの高校生72名





ワンパーセント

公益財団法人イオン1%クラブの事業

イオングループの主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、
 「次代を担う青少年の健全な育成」に資する事業、「諸外国との友好親善の促進」に資する事業、
 「地域社会の持続的発展」に資する事業を3つの柱となる事業として活動しています。



次代を担う青少年の 健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々の学校建設などを支援します。

諸外国との友好 親善の促進

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、日本への留学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。

地域社会の 持続的発展

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、そしてこれらを担う人材の育成などを支援します。また、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興を支援します。

寄付・協賛企業一覧はこちら
<https://aeon1p.or.jp/1p/>

